

アメリカ レイクハイランド高校 松原 さん

留学期間：R3.8～R.4.6（1年間）



ホストの親戚の方々と Thanksgiving Dinner

私はアメリカ、テキサス州のダラスで昨年8月からホームステイをしています。ダラスは米国南部の最大の大都市圏に含まれています。またテキサス州はメキシコの北部に位置しているということもあり、人種はヒスパニック、アフリカ系アメリカ人、白人など様々です。私のホストファミリーはチャイニーズアメリカンなのでアメリカ文化だけでなく、中国の伝統文化を教えてもらったり中華料理を振舞っていただいたりしています。

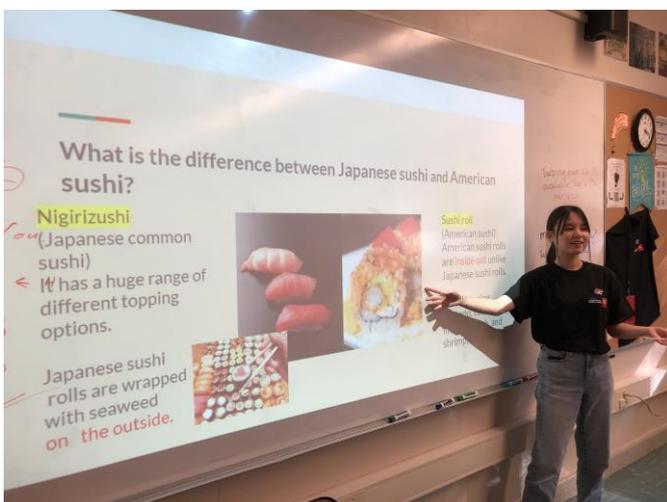
アメリカの高校生活に飛び込んで、すでに4ヶ月が経ちました。日々自分の中の常識が覆ってい

くことに驚きと感動を感じています。同じ高校にいる留学生の友達は5、6か国語を話し、同じ授業を取っているエストニアからの留学生の友達の話す言語は、3か国語とそして英語はネイティブレベル。第2言語をネイティブのように話すのは留学生だけでなく、ヒスパニックの友達はスペイン語も英語も両方レベルが高いです。絶対ネイティブだろうと思っていた子が実は英語は第3言語だったということもありました。そのような人たちと自分を比べて焦ることも4ヶ月たった今でもあります。しかし、その危機感から私はスペイン語の授業に本気で身が入るようになり、英語学習にもより真剣に取り組んでいます。

さらにアメリカで生活をしていると、今まで知っているつもりでもしっかり目を向けてこなかった問題、例えば人種差別、またジェンダーへの寛容な受け入れ方なども身近に感じます。そのような事をホストファミリーと話し合ったり教えてもらったりすることで自分の視野、考え方が広がったと確信しています。



みんなで仮装したハロウィンパーティー



日本の寿司とアメリカで有名なカリフォルニアロールとの違いを説明

日本文化の紹介の面では、私が所属しているJWAC(junior world affairs council)というクラブと日本文化クラブで日本についてのプレゼンテーションをしました。プレゼンを作る過程や、皆のプレゼンへの食いつきをみて、日本文化の素晴らしさを改めて実感しました。また、日本語クラスに着物と袴を着る手伝いのために特別に参加をさせていただくこともありました。着物を気に入っている様子を見て自分も喜びを感じ、日本の伝統を誇らしくも思いました。このような機会を通して異文化交流として日本と世界との架け橋

になれているなど実感しています。

日本から遠く離れた土地、全く新しい環境で揉まれながらもとても充実した日々を送っています。毎日が楽しく、驚くような発見が絶えません。初めのうちはそれらに慣れることが大変でしたが、ホストや友達、学校の先生方に様々な事を教えてもらいました。たくさんの方々に感謝してもしきれません。そして、このような素晴らしい経験ができてるのはふるさと納税に協力してくださった方々のお陰です。本当に感謝しております。ご期待に添えるよう尽力いたしますので、ご支援の程よろしくお願い致します。



国旗と日本のお菓子を配っての日本紹介プレゼンテーション



ホストファミリーに振舞った日本食肉じゃが



State Fair of Texas のマスコットキャラクター” Big Tex” の前で



誕生日に連れて行ってもらった日本食レストラン